

「子どもに教育を」
 120カ国、同時催し
 教育にかかわるNGO
 (非政府組織)が連携する
 「世界中の子どもに教育
 をキャンペーン」が12

0カ国で同時に進んでいる。各国政府への要望をイベント会場で紙などに書くよう呼びかけて、6月に日本で開かれる主要国首脳会議に提出する。日本では複数のNGOでつくる実行委員会が主催。東京・広尾の「JICA地球ひろば」で15日まで開いている。サイトへの書き込みは<http://jnn-net/joinup.html>。

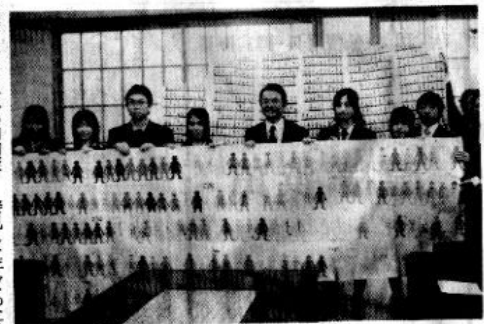
週刊仏教タイムス

2007年(平成19年)5月10日

JNNE

「人間の鎖」を外相に

「世界の子どもに教育を、」



麻生外相(中央)に贈られた1071人の「人間の鎖」

4月上旬に「世界中の子どもに教育を」キャンペーンを実施した教育協力NGOネットワーク(JNNE)は、同日、キャンペーンで集めた1071人分のメッセージ「人間の鎖」を外務省大臣控室で麻生太郎外務大臣に手渡した。参加したのはアジアの国々の子どもたちとの交流や教育支援などを行うNGO、教育問題などを語り合う「子ども国会」に参加している高校生や大学生など10人。NGO活動の経験を持ち、「教育す」と話した。

支援力を入れる山内康一(衆議院議員や三宅隆史(JNNE事務局長)ら「意見交換する時間がなかったのは残念。アジアで知り合った数しい環境の中でたくましく生きていく友だちのことをもっと話したかった」と感想を語った。

国連のミレニアム開発目標では、2015年までにすべての人が基礎教育(小学校、中学校)を無償で受けられることを掲げているが、世界では7700万人の子どもが学校に行くことができない現状がある。目標達成を目指し、世界120カ国以上のNGOや教職員組合などが、グローバル・アクション・ウィークとして毎年4月に、「世界一大きな授業」子ども国会(なび)を喚起するキャンペーンを展開。それぞれの国の政府に約束を履行するよう働きかけている。

2007年は「世界一長い人間の鎖」をめざし、人型の紙やネット上のアバター(分身)に世界513008人がメッセージを記した。この「人間の鎖」は今年のG8サミットに提出されることになっている。

10000人のメッセージを手に、 高校生等が大臣表敬

「世界中の子どもに教育を」
キャンペーンに参加した高校生
等が4月26日、麻生外務大臣
を表敬訪問し、日本の参加者
約10000人分のメッセージ
が書き込まれた人型の紙を大臣
に手渡した。

このキャンペーンは毎年4
月、世界の教育関連NGOが
主体となって実施しているもの
で、今年も「教育は権利です」
をテーマに、世界120カ国で
様々な催しを行っている。その
一つが、JOIN・UP!
教育の権利をみんなの手に！と
の呼びかけで行われている「世
界一長い人間の鎖」だ。

具体的には、参加者
がメッセージを書き込
んだ人型の紙をオンラ
インでつないで、世界
一長い「人間の鎖」を
作るというもの。ギネ
スブックへ申請するほ
か、6月にドイツで開
催されるG8ハイリゲ
ンダム・サミットにも
届ける予定だ。

日本では、教育協力
NGOネットワーク
(JNNE)などからな
る実行委員会を中心と
なって、このキャンペー
ンを実施している。



外務大臣を表敬した高校生等

子どもにも教育を

JNNEがキャンペーン

「世界中の子どもにも教育を」。世界120カ国で毎年4月に「万人のための教育」(EFA)を喚起するキャンペーンが行われている。日本でも教育協力NGOネットワーク(JNNE)らが主催し、3日から15日まで、東京・広尾のJICA地球広場(渋谷区広尾4-2-24)でキャンペーンを展開している。

今年、パネル展示に加え、「人間すくすく」が作られ、自分自身がコマとなり教育を受けられない世界の子どもたちの困難な状況を体験。来場者には人型の紙に感想やメッセージを記入してもらい、これを貼るつなげて「世界1長い人間の輪」を制作。外務大臣宛てに提出する。

この展覧会は世界120カ国でも行われ、ヴァーチャルにつないで世界1長い人間の輪としてギネスブックに掲載される予定にもなっている。また教育の重要性についてのリレートークも実施。14日午後1時半からは(特色)フリー・サ・チルドレン・ジャパン、午後3時からNPO法人ACE、15日にもそれぞれ(特色)アフリカ地域開発市民の会、シャンティ国際ボランティア会(SVA)の職員が現場からの声を紹介する。

「世界1長い人間の輪」を制作。外務大臣宛てに提出する。